

# 地域防災計画の見直しに「地域の声」を… 市民のみなさんをお願いしたいふたつのこと

東日本大震災の発生から1年。市では、市民のみなさんのご協力をいただきながら被災地支援を行う一方で、防災面を強化して安心・安全なまちづくりを進めるために、地域防災計画の見直しを進めています。現在、見直し作業については、災害対策基本法に基づく防災会議や職員の見直しチームにおいて、具体的な協議に入っています。

東日本大震災では、想定を超える多様な災害が発生しましたが、防災計画がいざというときに実効性のあるものとするためには、地域の実態をきめ細かく把握して、計画に反映していくことが大切です。

そのため、市では現在、地域の災害特性を分析し、地域に応じた人的・物的被害等の調査を実施し、大規模災害時に防災関連施設等が適切に機能するか等を再点検する防災アセスメント調査を実施しています。

問もなく「3・11」といって、忘れてはいけない日を迎えます。この機

会に、ぜひ各自治会等で地域の防災の再点検に取り組んでいただき、そこから見えてきたことや改善しなければならぬことを「地域の声」として市に届けたいです。

## ① お願いしたいことその① 絆マップへの取り組み

「絆マップ」は、自治会または自主防災組織において、地域の危険箇所や避難場所・避難経路等を再確認して作成するマップです。

このマップの作成過程の中では、地域で話し合い、情報共有を図りながら防災意識を高め、地域の絆を深めていくことがポイントです。



▲各自治会の絆マップ。絆マップは、作成の過程、継続的な取り組みが何よりも大切です。

2月末現在、マップ作成に、市内105自治会のうち69自治会に取り組んでいたようですが、この機会に改めて地域の安全点検をお願いします。

特に、避難経路や避難場所にかかわる課題は、見直し中の地域防災計画にも関連してきます。改善すべきことがある場合は、ぜひご意見をお願いします。

なお、マップの再点検や新規作成については、市民安全課と各庁舎の自治振興課が支援を行い、安心・安全な地域づくりに取り組んでいきます。お気軽にご相談ください。

## ② お願いしたいことその② 情報の提供

今後とも地域の防災力を高め、広報まいばらや伊吹山テレビを通じて啓発に活用していくため、次のような情報提供をお待ちしています。

▼「工夫を「基準」に」  
地域や家庭でひと工夫されている



▲広報まいばらと伊吹山テレビで紹介した「かまどベンチ」。市内施設や学校に取り組みが広がりました。

防災対策を教えてください。一部の取り組みをみんなの基準となるように広めていくことで、「自助」や「共助」の底上げにつながる場合があります。

## ▼「記憶を「教訓」に

過去の災害から学ぶべきことは、数多くあります。後世に伝えておきたい地域の災害体験を、ぜひお聞かせください。

## ▼「不安を「安心」に

防災面で不安を感じていること、疑問を持っていることなどをお聞かせください。市民のみなさんの視点に立った広報に活かしていきます。

地域で防災を考えるきっかけとして、「まちづくり出前講座」や「出前トーク市長と語る」も活用してね。



# 放射線と原子力災害対策

～ 国・県や市の状況について ～

私たちは、自然界から年間1人あたり約1.5ミリシーベルトの放射線を受けています。食事をして、テレビをみても被ばくしていますが、日常生活において受ける放射線は微量で、健康に影響はありません。

一方、原子力発電所の事故で、高線量の放射線がもれ出した場合などは、屋内退避や避難、安定ヨウ素剤の服用などの措置をとる必要があり、福島原子力発電所の事故による被害の深刻さを受け、国をあげてその対策の見直しが進められているところです。

国の原子力安全委員会では、原子力発電所からの距離をめやすに、その距離に応じた防災対策の考え方を検討されています。(図1) 米原市の場合、市内面積の3分の1が原子力発電所から半径50km圏内に含まれ、PPA「プルーム(放射性雲)通過時の被ばくを避けるための防護措置を実施する区域」に該当します。このため、市では昨年12月に安定ヨウ素剤の備蓄を行いました。

図1 防災対策を重点的に充実すべき地域の考え方のイメージ

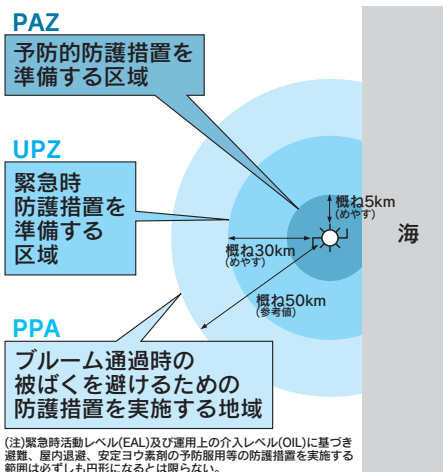
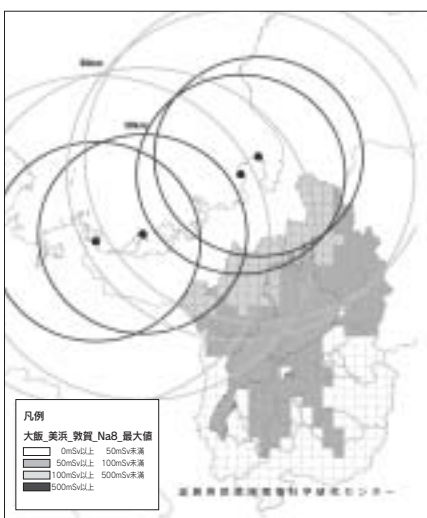


図2 放射性物質拡散予測結果 (甲状腺被ばく等価線量)



一方、県では、地域防災計画の見直しの中で独自に実施した放射性物質の拡散予測をもとに、国が目安としている基準を超えて、PPAの範囲を県内全域に拡大する方針を検討されています。(図2) その他に、事故発生時の連絡体制の強化や危機情報の共有化なども盛り込んだ県の見直し案は、本年3月末の県防災会議を経て正式に決定します。

市では、国の指針や県の計画の動向を的確に把握しながら、今後も原子力災害対策の検討を進めていきます。特に来年度は、「市民・地域の絆で築く災害に強いまちづくり」に重点的に取り組んでいきます。



▲米原市防災会議を開催。地域防災計画の見直しに向けた方向性等について協議いただきました。(2月10日 山東庁舎)

\*この記事は2月15日現在のものです。

## 知っておきたい放射能・放射線の基礎知識

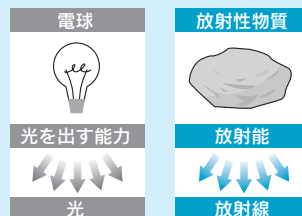


これからも  
ホタルンと  
勉強して  
いこうね。

放射線を出す能力を「放射能」といい、放射能を持つ物質を「放射性物質」といいます。電球に例えると、放射性物質が電球、放射能が光を出す能力、放射線が光といえます。

また、テレビなどでよく耳にする、放射能や放射線に関する単位は、次のことを表しています。

- 「ベクレル(Bq)」・・・放射性物質が放射線を出す能力(放射能の強さ)
- 「シーベルト(Sv)」・・・人体が受けた放射線による影響の度合い
- 「グレイ(Gy)」・・・放射線のエネルギーが物質や人体の組織に吸収された量



お問い合わせ・情報の提供先

市民部 市民安全課 (近江庁舎)

☎52-6630 ☎52-6930 ✉ bouan@city.maibara.lg.jp